

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

課題名

「切除不能局所進行非小細胞肺癌の化学放射線療法後デュルバルマブ療法への移行困難因子の検討」

1. 研究の対象

2018 年 1 月より 2019 年 4 月までに当院において化学放射線治療を行った非小細胞肺癌の方

2. 研究目的・方法

1. 目的

切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する同時化学放射線療法後に病状が増悪していない場合、デュルバルマブによる地固め療法が 2018 年 7 月より承認されました。しかし化学放射線療法後でも肺癌が悪化したり、症状のある放射性肺炎がおこったり、全身状態が悪くなった場合は、デュルバルマブは投与できません。化学放射線療法終了後、肺癌が悪化する以外の理由で、デュルバルマブによる地固め療法が行えない原因について検討します。

2. 方法

当院呼吸器内科、放射線腫瘍科において、2018 年 1 月より 2019 年 4 月までに化学放射線療法後を行った切除不能局所進行非小細胞肺癌患者さんで、化学療法が遅くなった理由以外で 42 日以内にデュルバルマブ療法に移行できたグループと副作用のために 42 日以内にデュルバルマブ療法に移行できなかったグループに関し、影響する原因（年齢、合併症など）を検討します。またデュルバルマブ療法に移行できた患者さんに関し、その経過に関し検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、性別、喫煙歴、抗がん剤治療の治療歴、放射線治療の線量、照射方法、副作用等の発生状況、年齢、合併症（COPD、糖尿病、肺手術歴 等）等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 西野 和美

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

(

-----以上